巻頭特集 ひまわり畑 おおがいす

たくさんの笑顔咲く、農業体験を

2015年、城南南部農地保全協議会のメンバーで開園した「大貝須のひまわり畑」。毎年、7月中旬から開花が始まり、8月は遅咲きの大輪のひまわりが鑑賞できます。協議会ではその種子からオイルを搾油する体験をはじめ、稲作や野菜の収穫、ヤギとの触れ合いなどの農業体験も開催。子どもから大人まで楽しめる内容で農業の魅力を広めています。

花びらの内側の管状花を抜き取る顔描き。その下から見える目や口の黒い部分がオイルの原料となる種子

体験型ひまわり畑で 農業と地域を活性化

古くから農業が盛んな桑名市城南地区。高齢化や後継者不足などによる生産者の減少はこの地も例外ではなく、重要な課題となっています。

2014年、農地保全に通じる後継者づくりや地域活性化に取り組むべく、城南南部農地保全協議会が発足。大貝須や南福江、城南萱町の農業の担い手である山本豊さん、清水正明さん、平野博さん、栗田昌弘さんの4人がメンバーとしてそろいました。「代々受け継いできた生業と農地を、地元に根差した活動で次世代に残したいという共通の思いがありました」と、代表の山本さんは話します。

翌年、オフシーズンの小麦畑を活用して約6000平方メートルのひまわり畑をオープンしました。さらに、収穫した種子で搾るひまわりオイルづくり体験を企画。大貝須のひまわり畑は他の名所と比べて小規模であることから、収穫体験などの付加価値をつけ、来場者を集めました。種子の収穫は8月下旬からスタート。十分に乾燥させた後、10月頃から搾油をし始めます。種子の25パーセントが油分とされるひまわり。乾燥状態が良好であれば、30リットルのポリ袋いっぱいの種子から約500ミリリットルが採取できます。

機械を使用するものの、あえて手間のかかる昔ながらの圧搾を採用しています。「どれも簡単では面白くないですし、『農業にはこんな苦労があるんだ』と知っていただくのがとても大切だと思います」と平野さん。ひまわりオイルは美味しいと大好評。豊かな香りも特長で、「油が疲れないので、かなりの数の揚げ物が揚げられる」という参加者の声も聞かれます。

一番の収穫はやりがいと地域に生まれたつながり

大貝須ひまわり畑といえば、巨大迷路も見どころのひとつ。子どもから大人までリピーターも多く、昨年は500人が来場しました。観賞用に比べて背丈が低い採油用ひまわり。「子どもたちが迷い込んでも見つけやすい」と保護者に喜ばれています。

迷路を手がけるのは、栗田さん。「初年度は夢中で作業するうちに自分が迷路にはまってしまい、いまどこにいるのかわからなくなった」と笑います。畑周辺の土手の雑草をはみ、除草を担うのは大貝須ヤギ組合が飼育するヤギ。メンバーは開園後も迷路の手入れを欠かさず、期間中は3回ほど整備し直します。巨大迷路のある畑の見頃は7月末で終わりますが、8月は遅咲きのひまわりが鑑賞できるほか、ひまわりの花で顔描きや、稲刈りの体験ができます。

「そもそも私はこの活動に興味があまりなかったのですが、他のメンバーの情熱と勢いに巻き込まれた」と笑う清水さん。「こんなところに誰も来ない」と当初メンバーは半信半疑だったといいますが、メンバーの家族がSNSで情報発信をするなどした成果もあり、現在は遠方からのリピーターも増えています。「活動を通して農家同士、横のつながりも太くなりました。いまだ何をするにも試行錯誤で赤字と苦闘していますが、やりがいや楽しみ、活動の意義をみんなが感じています」と口をそろえます。稲作や野菜づくりなど、現在はほぼ通年で体験事業を実施。農業の魅力を発信しています。

認知度のさらなる向上と、体験内容や遊びの充実を目指すメンバーたち。「ひまわり畑だけでなく、この地を訪れてくれるファンを大勢つくらなければと思います。そのなかから、地域の農業に関心を寄せる後継者が生まれるかもしれないので、私たちは農業の存続と地域活性化をあきらめません」と、山本さんは意欲をみせます。農業の再興のみならず、地域も盛り上げようとする城南南部農地保全協議会の挑戦は続きます。

1・2_平均30分ほどで脱出できるという巨大迷路。小さな子どもたちの可愛い帽子や頭があちらこちらに　3_巨大迷路は8月上旬までですが、その後は遅咲きのひまわりが楽しめます。　4_収穫したての種子。採油用は種子も小ぶり　5・6_除草にかり出されたヤギ隊。今春も子ヤギがたくさん誕生。現在約20頭が飼育されています　7_昨年の8月下旬に行われた手による稲刈り体験の様子。親子で参加するリピーターが多いです

自分でつくったものを自分で味わうとその味は格別。稲刈り体験をすると、いつものお米ももっと美味しく感じます。自然のなかでの学習体験は忘れられない夏休みの思い出になります。親子でぜひご参加ください

城南南部農地保全協議会のみなさん。左から栗田昌弘さん、山本豊代表、清水正明さん、平野博さん

Information

ひまわり畑 おおがいす

場所:桑名市大貝須 478 付近

■稲刈り体験

日時／8月25日(土)9:30～

手作業での稲の刈り取り、稲架掛けを体験します。収穫した米は9月に精米し、おにぎりで味わいます。

※活動の詳細や体験への参加申込みは facebook「ひまわり畑　おおがいす」、「ヤギときどき野菜」へ

文／nokko　写真／城南南部農地保全協議会提供・中村圭作　デザイン／ABBEY　ROAD